

コスモス ニュースレター EMC & 安全

Cosmos Newsletter on EMC & Safety

発行日 2021-06-01

No. 131



株式会社 コスモス・コーポレーション Cosmos Corporation

〒515-1104 三重県松阪市桂瀬町 718 番地-1

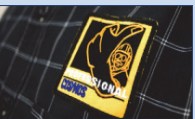
<https://www.safetyweb.co.jp/>

記事の配列は、概ね、国際規格を最初におき、米、欧、オセアニア、アジアの順です。

コスモス ニュースレター EMC & 安全

目次

エグゼクティブサマリー Executive Summary	2
IEC: 規格解説: CISPR 14-1 Ed. 7.0 (2020-09) 家庭用器具、電気工具等 - エミッション(2/2) ...	3
IEC: 新規格リスト	8
ISO: 新規格リスト	12
UNECE: 車両規制の整合化のための世界フォーラム: 第 183 回セッション報告書(2/2)	12
UNECE: 国連 1998 年協定への加入と実施へのロードマップ: パンフレット発行	15
国際テーマ: 米国で医療機器の新試験プログラムが試行中: 市販前試験結果の信頼を高める	15
国際テーマ: ユーラシア、ウクライナにおけるエネルギー効率規制の状況	16
国際テーマ: 南アフリカの電気エネルギー危機において、NRCS 規則が助けとなるか?	16
国際テーマ: コスモス・ニュースから各国認証関連情報を再掲	17
USA: FCC: KDB: TCB の機器認可前に FCC ガイダンスが必要なデバイスとは?	18
USA: FCC: Part 2, 15, 90, 95: 5.850-5.925 GHz 帯: ITS、並びに Wi-Fi 免許不要用途に利用	20
USA: FCC: Part 15, 74: 新たなワイヤレスマイクロホン技術に門戸を開く	20
USA: FCC: Part 2, 30: 24.25-27.5 GHz 帯における放射限度値に関するコメントを募集	21
USA: CPSC: 製品認証に関する試験等; 第三者適合性評価機関の認定に最新国際規格を適用	21
USA: CPSC: オフハイウェイ車 (OHV) の火災と破片貫通の危険; 規則制定案	22
USA: FDA: FDA 1997 年近代化法: 認定規格リストの修正、認定リスト番号: 055	23
USA: DOE: 2030 年までに太陽光発電コストを半分に削減する目標を発表	23
USA: DOE: 省エネプログラム: 最近の連邦官報による通知	24
USA: ANSI/UL: 新規格リスト	25
USA: IEEE: 新規格リスト	26
EU: 装飾品やコレクター向け商品に関するガイダンス書: 玩具か否かの区別方法	28
EU: 委員会実施規制 (EU) 2021/646 発行: 緊急車線維持システム (ELKS) 関連	29
EU: モーター車両に関連する EU 法の概要	30
EU: CENELEC: 新規格リスト	30
EU: ETSI: 新規格リスト	33
UK: 製品安全: グレートブリテンに関して、2021 年 1 月 1 日から何が変更されたか? (3/3)	34
オーストラリア: 無線通信 (短距離デバイス) 修正規格 2021(No. 1): 2021/4/27	37
中国: CQC: 風力タービンの制御システムの認証規則の改訂に関する通知	38
中国: CQC: 照明用インテリジェント制御装置および端末製品の安全と性能の認証規則の改訂	38
中国: CQC: 高度な安全支援運転車両認証のサービス開始に関する通知 (カテゴリー025005)	38
中国: 新規格リスト	39
台湾: 新規格リスト	41
韓国: RRA: 放送通信機資材などの適合性評価に関する告示一部改正案行政予告: 大型機材等	41
韓国: RRA: 航空業務用無線設備の技術基準の一部改正案行政予告: 国際標準に準拠	41
韓国: KATS: 電気用品と生活用品安全管理運用要領の一部改正告示: 電子表示可能品拡大	42
韓国: KATS: 電気用品安全基準制定 (案) 行政予告: IEC 62368-1 (KC 62368-1) 関連	42
韓国: KATS: スタートアップ製品安全ガイドブック(韓国語)入手可能	43
総務省: 60 GHz 帯の周波数の電波を使用する無線設備の多様化等に係る制度整備	44
総務省: マイクロ波帯を用いた UWB 無線システムの屋外利用の周波数帯域拡張	44
経済産業省: 日本産業規格(JIS)を制定・改正 (2021 年 5 月分) USB 等の汎用通信ポート	45
経済産業省: テレビジョン受信機/電気温水機器の新しい省エネ基準を策定	45
経済産業省、国土交通省: 報告書「レベル 4 自動運転サービスの社会実装を目指して」公表	46
国土交通省: 2020 年度 自動車の安全性能の評価結果: 大賞は、スバル「レヴォーグ」!!	46
ちょっといっふく〜小クイズコーナー ISO/IEC Directives Part 2 第 9 版について	17
コスモス・コーポレーション: 自動車部品の耐水試験についてのご案内	27
社長の独り言	47



IEC: 規格解説: CISPR 14-1 Ed. 7.0 (2020-09) 家庭用器具、電気工具等 - エミッション(2/2)

CISPR 14-1 Ed. 7.0 電磁両立性 - 家庭用器具、電気工具、及び類似機器 に対する要求事項 - Part 1: エミッションが、2020-09 付けで、発行された。おもな内容を紹介する。

- 適用範囲: 適用範囲機器に、無線送信/受信機能を組み込んだ製品、及び IPT(誘導電力伝送) を利用する本文書の範囲内の機器も含むよう、変更された ---- 等々。

UNECE: 車両規制の整合化のための世界フォーラム: 第 183 回セッション報告書(2/2)

- 欧州経済委員会 内陸輸送委員会 車両規制の整合化のための世界フォーラム第 183 回セッションが、2021 年 3 月 9～11 日、ジュネーブで開催された。
- **B. 1958 年協定の管理委員会 (AC.1) 、 XIII. 既存の規制の修正と正誤表、及び新しい規制の提案 - AC.1 による投票 (議題項目 11)**
137. 提出された書類に対する投票の結果は、第 12 条の手続き規則および 1958 年協定の改訂 3 の付録に従って、次の表に示されている:
以下等の新規国連規制が採択された: 第[160]号 イベントデータレコーダー、第[161]号 不正使用関連、[162]号 イモビライザー関連、第[163]号 車両アラームシステム関連

USA: FCC: KDB: TCB の機器認可前に FCC ガイダンスが必要なデバイス は?

- 発行番号: 388624。TCB が機器認可の承認を出す前に FCC のガイダンスが必要なデバイス、ならびにガイダンスを得るための手続きに関する質問と回答。
- 388624 D02 事前承認ガイダンスリスト v17 が、04/20/2021 付で発行され、388624D02 事前承認ガイダンスリスト v16r12 を置き換えた。大幅な変更である。
- TCB による承認前に、PAG レビューの対象となる機器認可の申請に 3 つのクラスがある。各クラスには、PAG リストの各特定の項目のトピックに関係する覚えやすい一意の 6 文字コード識別子が与えられたいくつかの項目が分類されている。

USA: CPSC: 製品認証に関する試験等 ; 第三者適合性評価機関の認定に最新国際規格を適用

- 本直接最終規則により、第三者試験機関ならびに適合性評価機関の規則を更新し、最新版の ISO/IEC 17025:2017(E)、並びに ISO/IEC 17011:2017(E)を引用して組み込む。

UK: 製品安全: グレートブリテンに関して、2021 年 1 月 1 日から何が変更されたか? (3/3)

経済産業省: テレビジョン受信機/電気温水機器の新しい省エネ基準を策定

- テレビジョン受信機の新しい省エネ基準を策定しました — 2021 年 5 月 14 日
- 電気温水機器 (家庭用ヒートポンプ給湯器) の新しい省エネ基準を策定しました — 2021 年 5 月 26 日

社長の独り言

2021 年 5 月 17 日

濱口 慶一

かなり早く梅雨の時期に入りましたが、皆様いかがお過ごしでしょうか。

新型コロナウイルスの変異株への感染が、特に関西、関東地区でかなり広がっています。三重県も相当の数の感染者が出てくるようになり、県境を越えないようにと三重県から指導されているため、弊社も県外への出張を極力控えるようにしています。お客様には大変ご迷惑をおかけしますが、何とぞご了承ください。県外への出張ができないお客様、在宅勤務のお客様には、Zoom や Microsoft Teams などを活用してリモートでの目視検討会や技術相談などに対応できますので、弊社担当者にお問い合わせください。これら以外のシステムをお客様側で導入されている場合は、その旨お知らせください。対応できるようにシステムを改善します。それにしても、この新型コロナウイルスの感染拡大が一向に収まらないのは困ったものです。また、オリンピックもパラリンピックもこのまま実施されるようで、すっきりしない面があります。外国からウイルスが流入する可能性はなるべく回避すべきと思うのですが？さて、どうなるのでしょうか？

先月お知らせしましたが、4 月から大学で約 20 名の学生と一緒に、システム安全の講義を 1 コマ 90 分、1 日 4 コマ受講しています。今まで齧り知識として知っていたことについて、その基本を取り込んでいなかったと感じることが多く、もう少し若いときに真剣に勉強しておけば良かったと反省しています。また、”製品安全業界で活躍されてきた濱口さんはどう思いますか？”と、ある意味意地悪な前置きを付けて質問される教授の方がいたり、演習の解答者に指名されたりと、やや強いストレスを感じながらの講義です。

論理回路の設計や、機構設計でもインターロック機構などの解析には、論理式を使つての検討解析が非常に良いので、大学で学んだ方、工業高校で習った方は、忘れないようにもう一度教科書を読み直していただき、常に論理式を使用して製品の安全を考える癖をつけられると良いのではと思っています。また、最近市場ではリスク分析を厳しく求められますが、リスクを分析する以前に、色々なリスクの形、姿をきちんと把握しないと何がリスクなのか分からないため、どこにどのようなリスクがあるのかさえも分からなくなってしまう。機器を設計開発する方は、製品を作る際は製造物責任法、実際に設置する時の電源の接続に関して電気事業法に基づく電気設備の技術基準、最後に、労働者の危害防止のため、労働安全衛生法に留意して下さい。

週末のほとんどは講義のため、趣味の養蜂をやめるつもりでしたが、たくさん鉢植えで持っていた金陵辺（蘭の一種）が遅れて咲き始めたところ、その開花に合わせてたくさんの日本蜜蜂が集まってきて、とうとう古い巣箱に移ってきました。今朝も巣箱の入り口を観察していると、早朝から蜜を集めに出て、元気に巣箱に帰ってくる姿が見られ、心が癒されます。その光景を観ていて、女王蜂は一人で巣箱の中にいるし、分蜂時にしかないオス蜂もあまり見なくなっているし、オス蜂には毒針が無く、お尻が黒く丸い？と考えているうちに、あれ？働き蜂は雄雌どちらだったっけ？と混乱してしまいました。

● ニュースレターの内容

本誌は、EMC、安全、及び省エネ (EMC, Safety and Energy Conservation) 分野に係り、世界の主要機関/地域により実施されかつ電気電子製品デバイスに適合が求められている規格/法規制について、その関連情報を、お届けいたします。

重要情報を幅広く調査、収集、かつ、要約して掲載し、当該分野の最新情報、潮流をすばやく捉えることができるようにいたします。情報源を明示しますので、貴殿の関心により、更に深い調査が可能です。

本誌は各国への技術法規適合製品を試験 認証 開発 管理される部門の方にとり必読の内容です。

- 対象機関/地域: IEC 等国際機関、並びに、FCC, UL を含む米国、EU, CENELEC, CEN を含む欧州、その他オセアニア、及び日本を含むアジアの各地域
- 情報源: カバー対象の機関、地域の Web site、或は情報サービス。又、ご協力のご同意を頂いた日本国内及び米国・欧州・中国・韓国・台湾などの当該分野権威者から提供された情報。

● 本誌購読のお申し込み方法

コスモス・コーポレイション CS 部 (カスタマーサービス部) まで Yamashita-jun@cosmos-corp.com
Tel 0598-30-5225 Fax 0598-30-5571

- 発行: 年間 11 回発行。各号 A4 版、40 ページ前後。
- 価格: 各号 2,000 円 (年間購読の場合 1 年 11,000 円)(消費税込)

● 本誌の内容案内、ご購入案内は、<https://www.safetyweb.co.jp/services/other/publication/>

本誌の記事が正確であるよう最大の努力を払っておりますが、間違いが含まれていることがあるかもしれません。本情報をご使用になられる場合はご自身でもう一度ご確認ください。

株式会社コスモス・コーポレイションは、下記 Web site の運営体からそれぞれ個別の条件の下、Web 情報の引用、転載につき許可を頂いております。翻訳転載された記事の著作権は原著作権者に属します。本誌掲載記事の無断転載を禁じます。本誌の複製、再配布は電子的なものを含み禁じます。

国際機関	IEC: International Electro technical Commission	国際電気標準会議
米州	A2LA: American Association for Laboratory Accreditation	米国試験所認定協会
	ANSI: American National Standards Institute	米国規格協会
	FCC: Federal Communications Commission	連邦通信委員会
	IEEE: Institute of Electric and Electronics Engineers	米国電気電子学会
	CSA: Canadian Standards Association	カナダ規格協会
欧州	CENELEC: European Committee for Electro technical Standardization	欧州電気技術標準化委員会
	ECO: European Communications Office	欧州通信オフィス
	ETSI: European Telecommunications Standards Institute	欧州電気通信標準協会
	EU/EC: European Union/European Commission	欧州連合/欧州委員会
オセアニア	ACMA: Australian Communications and Media Authority	オーストラリア通信/メディア局
	NZ: New Zealand Government Radio Spectrum Management	ニュージーランド政府 RSM
アジア	BSMI: Bureau of Standards, Metrology & Inspection	台湾經濟部標準檢驗局
	CNS: Chinese National Standards Online Service	台湾中国国家規格検索システム
日本	METI: Ministry of Economy, Trade and Industry	経済産業省
	MIC: Ministry of Internal Affairs and Communications	総務省
	NPB: National Printing Bureau	独立行政法人国立印刷局
	VCCI: Voluntary Control Council for Interference	一般財団法人 VCCI 協会

Cosmos Corporation is granted the copyright authorization for the reproduction of the Web site information from the above listed organizations with the individual condition. Further use, modification, redistribution of the information on the Cosmos Newsletter on EMC & Safety is strictly prohibited.

コスモス ニュースレター EMC &安全 (Cosmos Newsletter on EMC & Safety) 2021-06-01 (No. 131)

発行所: 株式会社コスモス・コーポレイション 本社・松阪事業所

住所: 〒515-1104 三重県松阪市桂瀬町 718 番地 1 ホームページ: <https://www.safetyweb.co.jp/>

発行人: 濱口慶一

編集人: 倉口光雄 iNARTE 認定 Certified EMC Engineer (EMC-002315-NE)

© 2021 株式会社コスモス・コーポレイション Cosmos Corporation

本誌の複製、再配布は電子的なものを含み禁じます。